

第1回江東区みどりの基本計画推進会議 議事録

日 時	令和2年9月7日(月) 14:00~16:00
場 所	江東区文化センター3階 第4研修室
出席者	<p>〈委員〉</p> <p>島田正文 (日本大学 生物資源科学部 暮らしの生物学科特任教授)</p> <p>柳井重人 (千葉大学 大学院園芸学研究科准教授)</p> <p>早坂治子 (東陽6・7丁目町会 会長)</p> <p>矢部正治 (公募区民)</p> <p>大輪安信 (公募区民)</p> <p>美濃又哲男 (みどりネット Koto 代表)</p> <p>須永俣子 (NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長)</p> <p>早川鋭 (NECソリューションイノベータ株式会社)</p> <p>渡部陽介 (清水建設株式会社 技術研究所)</p> <p>野尻紀美恵 (越中島小学校校長)</p> <p>〈委員(区職員)〉</p> <p>杉田幸子 (土木部長)</p> <p>油井教子 (企画課長)(代理 企画担当係長 岩田勉)</p> <p>谷川寿朗 (営繕課長)</p> <p>渡邊貴志 (保育課長)(代理 保育管理係主査 木下富美代)</p> <p>関戸佳子 (温暖化対策課長)</p> <p>立花信行 (都市計画課長)</p> <p>大野俊明 (道路課長)</p> <p>山田英典 (河川公園課長)</p> <p>中尾英樹 (施設保全課長)</p> <p>半田智隆 (学校施設課長)</p> <p>伊藤秀一 (指導室長)(代理 統括指導主事 金指大輔)</p> <p>〈事務局〉</p> <p>管理課：伊藤課長、七條係長、吉木、中山、松井</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 江東区長挨拶 2 委嘱状の交付 3 委員自己紹介 4 会長、副会長の選出 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) みどりの基本計画推進会議について (2) みどりの基本計画について (3) 各事業進捗について 6 その他

配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 名簿 ● 資料1：みどりの基本計画推進会議設置要綱 ● 資料2：江東区みどりの基本計画（概要版） ● 資料3：江東区みどりの基本計画 ● 資料4：重点プロジェクト ● 資料5：事業進捗管理表
------	--

開会

次第1 江東区長挨拶

次第2 委嘱状の交付

次第3 自己紹介

次第4 会長・副会長選出

次第5 議題

議題1 みどりの基本計画推進会議について

（意見なし）

議題2 みどりの基本計画について

（委員）

公園面積の目標は、新たに公園を整備していくということでいいか。

（事務局）

積極的に公園整備を図っていくことを意図している。

（委員）

区民評価に関する現状値は、アンケート等でとられたのか。

（事務局）

現状値については、区民アンケートで取得した値。これまでの流れや今後の施策の展開などを総合的に考えて、目標値を設定した。

例えば、「満足している区民の割合」は74.4%であり、高い状況と考えているが、更に満足度を上げていくのは、正直厳しいと感じている。区民の8割程度が満足している、というの

は行政として目指すべき姿であり、あえて厳しく設定している目標。皆様の力を借りながら、みどりを充実させ、この10年間でできる限り近づけていきたいと考えている。

(会長)

補足として、前回の計画では、こういった目標の定番である緑被率を設定したが、今回はできる限り区民の目線で、わかりやすい目標値を設定した。また、こうした計画はなかなか区民の方が手に取ってもらえないので、できる限り読んでもらえるようにコラム・写真・イラストを盛り込んだ。

(委員)

公園や水辺の散歩道を増やしていくということはわかるが、メンテナンスはどのように考えているのか。

(事務局)

みどりを増やしていくことだけではなく、今あるものを維持していくということは、大事な視点。その中で、現状に戻していくということも一つの方法だが、例えば公園でいうと魅力アップすることによって、利用率が上がる、皆様に親しまれるとった側面があるので、可能な限り地域の方々の意見を聞きながら、地域の方が親しめるように工夫していきたい。

(会長)

平成29年に都市緑地法が改正され、管理の方針もみどりの基本計画に位置付けることになった。公園・緑地の質を上げるということに関しては、計画の3章の5に管理の方針が書いてある。

(事務局)

計画の40ページに「公園・緑地の管理方針」があるので参照されたい。

(会長)

みどりの基本計画は策定してから半年しか経過していないので、計画に書かれている区の事業も途中段階。推進会議の役割は、1年、2年経ったときに区から提示された進捗について意見を出すもの。進捗については議題3で扱う。

(委員)

現状値はいつの時点のものか。また、今後アンケート等は継続して取得していくのか。

(事務局)

「みどりに満足している区民の割合」は令和元年度に、それ以外の現状値は平成 30 年度に実施したアンケートによる。今後、アンケートは継続していく。

(委員)

コロナによって新しく生まれてくる課題やニーズへの対応とフォローを行う必要があると感じるが、いかがか。

(事務局)

現在の感染症の状況は、予期していなかった。地域のニーズはかなり変わっていると肌で感じている。この状況がどこまで続くか分からないが、社会状況を見据えながら、アンケートなどに新たな課題等を盛り込む必要もあると考える。今後、この推進会議も活用しながら考えていきたい。

(委員)

私どもは新木場駅前のロータリーにある港湾局の土地を借りてハーブガーデンを作らせてもらっている。公園を増やしていくことについては、港湾局の土地を移管して、公園として活用していくということも考えられると思う。駅前のロータリーのガーデンは木枠で囲って、我々がメンテナンスしているが、それ以外の桜の木や芝などは、港湾局がメンテナンスしている。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で作業員が確保できないということもあって、ガーデンは綺麗にしても、周囲に雑草が生えていてガーデンが綺麗にならないといったこともある。

港湾局は、将来的に売却することも考えて駅前に土地をもっているということも伺っており、条件付きで借りている土地。区民の方が住んでいる場所ではないが、駅前の一等地であり、またオリンピック・パラリンピックの開催にあたり、窓口になるような場所なので、江東区が管理するというところをご検討いただくとありがたいと思う。

(事務局)

江東区が管理すれば、ある程度きめ細かな管理ができると思う。ただし、貸付や売却についてはコストなどの課題があるので、引き続きご意見を伺いながら判断していく。

議題 3 各事業進捗について

(委員)

令和元年度、令和 2 年度に記載がないもの、例えば「サードプレイスとなる居場所づくり」や「協働による公園管理運営の仕組みづくり」などは民間となっているが、たとえば NEC

のような活動を報告するというのでいいか。

(事務局)

計画で想定しているところは委員指摘の通り。区の特定の担当部署を決めるのではなく、民間主導で取り組んでいただくということを、表現している。ただ、完全に民間まかせということではなく、区の事業ではないとしても、事業者や地域の方との情報交換を通してアドバイスをしていくなど、行政との関わりというのはでてくると想定している。

(副会長)

網掛けがしてあり、民間と書いてあるだけでは、民間任せとして受け止めてしまいますので、行政としてどういったサポートして、どのようなことが生まれたのかを、やりとりがあった内容だけで結構なので、記載してもらいたい。

(事務局)

計画の段階で示していくのは難しいが、取り組んでいくなかで、実績として表現できるものはあると思うので、検討する。

(委員)

ブランクになっているところも、取り組みのアドバイスや助成金の相談についての窓口については記載があるといいと思う。

(事務局)

担当窓口を一つに決めづらいということもある。記載していない事業については、管理課が一義的な窓口になる。

(委員)

資料4についてですが、CITY IN THE GREEN 公共緑化推進事業のシンボルツリー整備については、毎年2か所ずつ整備するというのでいいか。

(事務局)

現在の計画では、毎年2か所、5年間で10か所整備していく。

(会長)

実績はパワーポイントなどで画像を使用して紹介してもらえれば見やすくなると思うので検討をお願いします。

(事務局)

画像でお見せしたほうがわかりやすくなるものもあるので、工夫させてもらう。

(会長)

計画の 80 ページにあるとおり、みどりの基本計画については、PDCA サイクルで検証しながら進めることが非常に重要、皆様のお力をお借りしたい。

次第 6 その他

(委員)

会議の進行の方法について委員から議題の提案や資料の提出等は可能か。冒頭私から、プロデューサー役のセクションが見当たらないと申し上げた。行政の取り組みを行政が説明すると、予算の関係もあって、絞られてきてしまう感じがする。みどりとは、もっと広い視点で、まちづくりであるとか、教育であるとか、防災であるとか、広い視点から捉えるものだと思っている。コミュニティガーデンの活動に関わっていると、細かいところで区の制度がなぜこのような仕組みになっているのか疑問が生じることもある。そういう様々な疑問や区民サイドでみどりに関して思っていることを、この場で議論してもらうことはできないか。

(事務局)

まず、そういった意見につきましても、今回配布した意見書にその内容を記載し、提出してもらいたい。また、内容についてですが、みどりの活動は、指摘のとおり行政だけで完結できるものではないと考えている。民間の方、また地域で活動されている方の活動があってはじめてみどりの活動が成立していくと思っているので、例えばその活動の状況やどういう活動されているかを紹介してもらうことも重要。この会議を起点にして様々なことを発信できる、ということも考えられるので、今後そういった活動の紹介を議題の中でとりあげていくことは必要。ただ、準備の都合等があることから、早めに伝えてもらえれば事務局としても対応しやすいので、協力をお願いします。

(委員)

そのことについては、次回の会議スケジュールを教えてもらえれば、それに向けて色々な人とどうするか話し合い、個人ではない意見を集めることができれば、と思っている。そのため、全体のスケジュールを教えてください、次回の資料提出についてルールとまでは言わないが、この会議の議題に相応しいかどうかのチェックをしていくかの段取りを明示してもらいたい。

(事務局)

事務局から全体のスケジュール感を示して、その中でいつまでに議題の提案をもらえれば、会議に取り上げることができるか、ということは提示しなければいけない。内容について、事務局と正副会長で調整するという事も出てくると思う。

第2回会議は、2月を概ねのスケジュールとして考えている。

(委員)

次回2月となると、半年後なので、2年間の任期だと計4回。そうすると成果を出していこうにも、例えば区の報告について、こちらから意見を出させてもらい、それを持ち帰ってもらい、一つの市民の声として取り入れてもらうことは可能だと思うが、推進会議として皆様と具体的に進めていくためには期間が空きすぎているのではないかと思う。

(事務局)

確かに、具体的な事業を進めていくには年2回では少ないという気はする。ただ、この会議の目的が、計画の進捗管理を主目的にしているので、現状の取り組みと、それに対する反省、今後の展開について議論していく場として考えているので、概ね問題ないと考えている。

また、具体的なことについては、会議の場でなくても、C I Gの担当であったり、様々な担当部署があるので、そういったところで協議していければ、と考えており、事業者の方、地域の方、そして行政が距離を縮めていければと思う。

(会長)

以上をもって推進会議を終了する。長時間にわたりお疲れ様でした。

以上